

2024年9月
発行

KYUSHU UNIVERSITY FUND

ANNUAL REPORT 2023

[令和5年度 九州大学基金活動報告書]

Impact of Giving



九州大学 総務部 同窓生・基金課

〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡744

TEL: 092-802-2150

E-mail: k-kikin@jimu.kyushu-u.ac.jp

URL: <https://kikin.kyushu-u.ac.jp/>



九州大学基金を通じて 多大なご支援を賜り、 誠にありがとうございます。



九州大学は、2030年に向けた大学の目指す姿として「総合知で社会変革を牽引する大学」を掲げ、その実現に向け、「Kyushu University VISION 2030」を策定しています。

複雑で困難な社会的課題が溢れ、社会・経済システムの変革、再構築が強く求められている現代社会において、多様な「知」と「人材」が集まる大学には、これらの課題解決に貢献する役割を果たすことが期待されています。九州大学ではその強み・特色を生かして、DX(Digital Transformation)の推進に取り組むとともに、自治体、企業等をはじめ地域社会と共創して様々な取組みを展開しながら、社会的課題(脱炭素、医療・健康、環境・食料の3領域)の解決にチャレンジしてまいります。

そして、多くの学生や研究者にとって魅力ある世界最高水準の教育研究を展開する大学として、110年を超える伝統の中で培ってきた知の集積と、育成してきた人的リソースを最大限に活かし、教育・研究を一層充実させてまいります。

九州大学基金は、「山川賞」をはじめとした学生の修学や独創的活動など、主に学生に対する幅広い支援に活用させていただいており、加えて、研究者の育成、図書館等の施設整備、各部署における研究教育活動への支援など、予め用途を定めて募金を行う用途を特定した事業も展開しております。

本活動報告書は、九州大学基金による2023年度の活動状況を皆さまにご報告するとともに、九州大学並びに九州大学基金の取組をご理解いただくために作成しているものです。

卒業生・保護者や地域の皆さまをはじめ、企業・団体等の皆さまには、引き続き九州大学基金に心強いご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2024(令和6)年9月

九州大学総長
九州大学基金本部長 **石橋 達朗**

■九州大学へのご支援(大学に一任)のお願い

令和5年度
実績

寄附受入額

70,257,100円

件数

2,036件

大学に一任頂いたご寄附はVISION2030で掲げた大学の実現に向け、研究教育の更なる高度化に活用させていただきます。その他、地域社会との共創による活動や、ご寄附を適切に運営するための経費として活用させていただきます。

実現に向けた8つのビジョン



VISION1 ガバナンス	VISION2 DX	VISION3 教育	VISION4 研究
VISION5 社会共創	VISION6 国際協働	VISION7 医療	VISION8 財務基盤

九州大学基金 主な活動実績

— 令和5年度 —

令和5年度の
主な活動実績をご報告します。

令和5年10月

感謝の集いを開催しました

九大基金へ多大なるご支援を頂いた寄附者の皆さまをお招きし、令和5年10月に感謝の集いを開催いたしました。60名を超える皆さまにご出席いただきました。

応援団による激励にて幕を開け、九州大学基金の現状についての報告、研究者・学生からの活動報告、懇談のお時間など、積極的に活動する学生や研究者の「今」そして「これから」をお伝えし、盛会のうちに終了しました。



「感謝の集い」出席者による記念撮影

令和5年10月～12月

相続・遺言セミナーを開催しました

昨年に引き続き『相続・遺言セミナー』を開催しました。令和5年10～12月に計3回(東京・大阪・福岡)へと規模を拡大し、合計で100名の方にご参加いただくなど、想定を超える反響をいただいております。

「今から考える相続対策」をテーマとした2部構成で、外部有識者の方によるご講演に加え、財産管理や具体的な遺言信託の流れをご説明いただいたほか、福岡会場ではセミナー終了後にご希望者による個別相談会を実施するなど、大変好評いただきました。



セミナーの様子

令和5年10月

寄附者銘板をリニューアルしました

九州大学基金にご寄附頂きました皆様へ感謝の意を表すため、謝意の制度を見直したことに伴い、本学伊都キャンパスの椎木講堂に設置しておりましたご寄附者芳名を掲載した銘板について、令和5年10月にリニューアルしました。同月に開催した感謝の集いにてお披露目会を行いました。多くの方に記念撮影いただくなど、大変好評を博しております。

九州大学にお越しの際は、椎木講堂に設置した銘板をご案内いたしますので、是非お声がけください!皆さまからの貴重なご寄附と想いを頂戴し、これまで以上に本学の教育研究の高度化を図ってまいりますので、引き続きのご支援を賜りますようお願いいたします。



「銘板お披露目会」の様相

1 令和5年度 九州大学基金へのご寄附

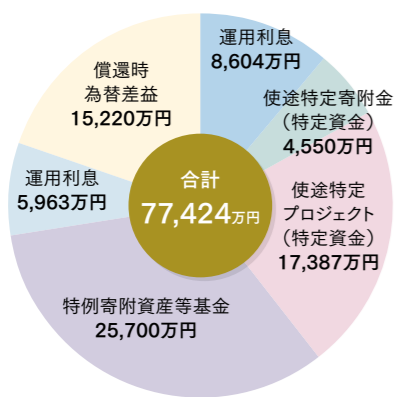
九州大学基金は、2011(平成23)年に、百周年記念事業の一つとして、九州大学の教育・研究・診療等に対する支援とその環境の更なる整備・充実を図ることを目的に創設され、多くの方からのご寄附により支えられています。

九州大学基金では、学生・教職員に対し、年間1億円規模の支援助成事業を実施しています。

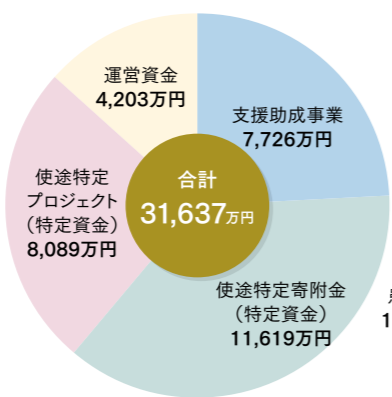
令和5年度は、総額約6億6千万円のご寄附を頂戴しました

種別	件数	金額
一般資金	3,421件	86,043,569円
特定資金	1,286件	314,651,174円
特例寄附資産等基金	1件	257,000,000円
寄附総額	4,708件	657,694,743円

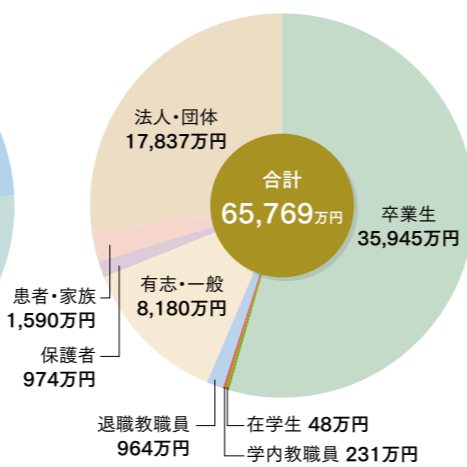
令和5年度
九州大学基金収入



令和5年度
九州大学基金支出



令和5年度
寄附者属性別寄附額



※端数調整のため、表上の計算が合わない場合があります。

2 九州大学基金の称号について

九州大学基金にご寄附頂きました皆様へ感謝の意を表するため、前年度末までの九州大学基金への寄附累計額に応じて次のとおり称号を贈呈させていただいております。

称号	個人	法人	個人数	法人数
特別荣誉賞(殿堂入り)	1億円以上	5億円以上	8	0
特別荣誉賞	1,000万円以上	1億円以上	11	3
荣誉賞	500万円以上	1,000万円以上	8	17
特別功劳賞	100万円以上	500万円以上	86	4
功劳賞	50万円以上	100万円以上	102	87
功績賞	10万円以上	50万円以上	1,529	59

※2024年3月31日時点の寄附累計額を元に集計 ※連名の場合は1件としてカウント

3 九州大学基金 令和5年度 受入実績

種別		件数	金額
● 一般資金 合計 3,421件 総額 86,043,569円	一般資金	3,421	86,043,569円
	九大生応援基金	954	11,477,476円
	九州大学に一任する	2,036	70,257,100円
	古本募金	15	42,431円
	Givingキャンペーン	416	4,266,562円
● 特定資金 合計 1,286件 総額 314,651,174円	使途特定寄附金	7	45,500,000円
	使途特定プロジェクト	1,176	173,870,174円
	修学支援事業基金	374	11,979,222円
	伊都キャンパス植樹プロジェクト	39	1,655,000円
	ヨット部艇庫建設・活動支援基金	27	3,617,000円
	女性研究者活躍促進プロジェクト	57	957,000円
	安全管理・安全教育活動支援基金	11	18,000円
	課外活動における安全対策等支援基金	5	45,000円
	九州大学デジタル資料整備事業	21	652,000円
	三井住友信託銀行「医療支援寄付信託」	0	0円
	産業数学人材育成プロジェクト	21	6,359,000円
	ウクライナ学生・研究者支援基金	44	650,547円
	総合研究博物館箱崎サテライト拠点化事業	66	12,506,000円
	法文学部創立100周年記念プロジェクト	286	15,725,000円
	近代建築物の保存活用プロジェクト	23	5,621,445円
	九州大学若手研究者育成・研究支援事業基金	60	549,000円
	エネルギーの脱炭素化に向けた研究事業	18	330,000円
	九州大学ダイバーシティ・スーパーグローバル教員育成研修(SENTAN-Q)事業基金	2	20,000円
	未来人材育成奨学金	17	19,000,000円
	学生の自主的アントレプレナーシップ活動支援	4	43,000円
	その他(留学生支援事業基金)	22	1,466,000円
	価値創造型半導体スペシャリスト育成プロジェクト	7	39,211,960円
	BeCAT・環境をテーマにした建築研究教育プロジェクト	4	20,035,000円
	九州大学附属図書館 医学図書館整備事業	33	5,382,000円
	糸島インクルーシブ・アートヴィレッジ・プロジェクト	3	5,007,000円
	九州大学病院における次世代基盤法を用いたデータサイエンス研究	14	23,000,000円
	九大フィルの東京公演ならびに活動支援事業	1	10,000円
	新型コロナウイルス対策学生支援基金	13	25,000円
	新型コロナウイルス対策留学生支援基金	4	6,000円
	部局特定寄附金	103	95,281,000円
九州大学病院基金	75	43,521,000円	
芸術工学支援基金	8	115,000円	
工学教育研究支援基金	4	72,000円	
歯学教育研究支援基金	2	50,500,000円	
水素エネルギー研究教育基金	2	4,000円	
農の未来共創基金	3	55,000円	
法科大学院基金	9	1,014,000円	
カーボンニュートラル・エネルギー研究支援	0	0円	
次世代アントレプレナー育成	0	0円	
次世代の医療を拓く医学奨励基金	0	0円	
理学支援基金	0	0円	
ISEE(システム情報科学)基金	0	0円	
数学教育研究支援基金	0	0円	
アジア・オセアニア研究教育支援基金	0	0円	
言語文化教育研究支援基金	0	0円	
特例寄附資産等基金	1	257,000,000円	
特例寄附資産等基金(株式によるもの)			
合計	4,708	657,694,743円	

多様な「知」と「人材」を結集し、 「総合知で社会変革を牽引する大学」へ。

九州大学が2030年に向けて目指す姿は、「総合知」によって社会的課題の解決と社会経済システムの変革に貢献する「総合知で社会変革を牽引する大学」です。その実現に向けて、最高水準の研究教育を展開する大学への変革を進め、下記の事業を展開し、学術基盤研究から社会変革に貢献する展開研究まで広く研究力を強化し、国際競争力を高め、世界のトップ大学と伍する大学へと生まれ変わります。

PROJECT 01

若手研究者育成・研究支援事業基金

【募集期間】2022年9月～2028年3月

若手研究者育成事業

各 研究分野を牽引し、我が国の将来を担うトップ研究者を戦略的に輩出することを旨とする「稲盛フロンティアプログラム」、国際的に活躍できる研究リーダーを育成する「国際的研究リーダー研修プログラム」を実施し、次代を担う若手研究者を育成します。令和5年度は、その第1期生として稲盛フロンティアプログラムで5名、国際的研究リーダー研修プログラムで5名を採択しました。

研究支援事業

若 手研究者に必要なスキルの習得、競争的研究費獲得に向けた支援、異分野融合グループ研究や国内外の大学・研究機関との共同研究支援など、幅広い研究ニーズに対応した研究支援プログラムを提供し、自由闊達な研究を支援します。令和5年度は、約280名の研究者へ支援を実施しました。

PROJECT 02

エネルギーの脱炭素化に向けた研究事業

【目標金額】3,000万円
【募集期間】2022年9月～2025年3月

本 事業では、エネルギーの脱炭素化に向けて従来にない新しい成果の創出を目指し、異なる専門性を持つ研究者が協力し合う先進的な集学的プロジェクトとして①エネルギーの脱炭素化に役立つ材料の研究、②脱炭素化を実現するエネルギーシステムの研究、③持続可能なエネルギー社会を作るための研究、の3つのクラスターを形成し研究を実施しており、ご寄附は各クラスターの事業推進に役立てます。



PROJECT 03

ダイバーシティ・スーパーグローバル教員育成研修(SENTAN-Q)事業基金

【目標金額】2,000万円/年
【募集期間】2023年1月～2026年7月

S ENTAN-Qでは、優れた研究業績を有する本学女性ならびに若手教員に世界トップレベルの研究教育力を徹底して実践的に身につける2年間の国際研修を実施します。毎年10名程度を選出し、世界と伍して戦える真に実力のあるダイバーシティ・スーパーグローバル教員として育成し、研究力と人間力で大学と社会を変えていく人材を、九州大学から輩出します。



研修を通じて国際通用性のある研究教育スキルをはじめとした幅広い知識を習得します。

第1期「稲盛フロンティアプログラム」教員



- 1. Yuh HsuanWeng [新領域法学、知能情報学]
- 2. 楠亀 裕哉 [物理学(素粒子論)]
- 3. Justin Kaidi [物理学(素粒子論)]
- 4. 矢崎 亮 [薬系化学、創薬科学]
- 5. 高野 哲也 [細胞生物学、神経科学]

PROJECT 04

女性研究者活躍促進プロジェクト

【目標金額】300万円/年
【募集期間】2017年1月～2026年3月

本 事業では、優秀かつ多様な学生ならびに若手研究者の確保を図るとともに、社会全体の女性活躍推進に向けた独創的、先導的な活動を進めることを目的としており、2023年度は、英語プレゼンテーションワークショップ「日本と海外の聴衆へのアプローチはどう違うべきか」を開催しました。リンクサイエンス代表の川上輪子先生をお招きし、海外の聴衆への分かりやすい説明の方法や質疑応答の対処法について講義いただきました。参加者からは、国際学会でのプレゼンに早速活用できるとの声が寄せられました。



ワークショップの様子

PROJECT 06

糸島インクルーシブ・アートヴィレッジプロジェクト(糸島IAVP)

【目標金額】1,500万円
【募集期間】2023年10月～2028年3月

人 と人、人とモノ、人と場所を結びつけるアートのちからを活用して、多様な人々が生き生きと日常的に交流する地域を九大×糸島地域に創出することを目指しています。インクルーシブ(包括的)な土壌作りの一環として、糸島特別支援学校の先生方との協働、多文化を背景とした子どもたちの学習を考えるワークショップへの参画、糸島市との共同研究による土地の歴史や記憶の掘り起こしとアートやテクノロジーを活用した多様な人たちの参加による「地起こし」の取組み等を企画しています。



糸島特別支援学校での教員と学部生の座談会

PROJECT 05

BeCAT・環境をテーマにした建築研究教育プロジェクト

【目標金額】2,000万円/年
【募集期間】2023年10月～2028年3月

九 州大学発の「環境」をテーマにした建築研究教育センター「BeCAT」は、学内の建築・都市専門家と学生が協同し、アートとテクノロジーを融合させ、未来の都市や建築のあり方を探求しています。持続可能で資源循環できる漁港のあり方を想定した牡蠣小屋デザイン、「牡蠣殻ブロック」開発や、「糸島のお茶の拠点」プロジェクト等、身近なテーマを通じて、九州をフィールドに企業や地域の方と協力しつつ、大学での研究成果を社会に還元していきます。



「糸島のお茶の拠点」プロジェクト講評会

PROJECT 07

九州大学病院における次世代基盤法を用いたデータサイエンス研究

【目標金額】2,500万円
【募集期間】2024年3月～2026年2月

次 世代医療基盤法やスマホアプリなどを用いて、九州大学病院が保有する医療データと、協力企業店舗の購買データや連携機関が研究する介護データ等とを突合・解析することにより、購買データ等による、生活習慣病や介護等の予測や因果関係を解明し、予防医療への転換を促す日本初の取組みのための研究を実施しています。健康医療分野DX人材の確保、解析結果の社会へのフィードバック等を実施しながら着実に研究を進め、超少子高齢社会を健康で明るい社会とし、Well-being達成のための新しいビジネスモデル創成を目指しています。



TOPICS [トピックス]

「藤井徳夫研究奨励基金」創設

九州大学の研究者がノーベル賞を受賞することを目的として、「藤井徳夫研究奨励基金」を創設いたしました。この基金は、九州大学卒業生である藤井徳夫様の「是非とも九州大学からノーベル賞受賞者を輩出してほしい」との熱い思いによるご寄附により創設されるもので、新たな価値創造の基盤となる意欲的な研究者の自由闊達な研究活動を支援し、世界の学術を牽引する研究者を育成することで、九州大学からノーベル賞受賞者を輩出することを目指します。



全ての学生が安心して活動できるように。

学生の半数は奨学金などの経済的支援を必要としているといわれています。九州大学基金では、各種プロジェクトを設置して学生の活動を支援しており、中でも、『九大生応援基金』では山川賞、海外派遣、課外活動支援等の事業を行っています。

九大生
応援
基金

PROJECT 01

次世代を担う若者を育てる

山川賞

【令和5年度受賞者】

2年次生：6名、3年次生：2名/計8名



山川健次郎初代総長胸像と令和5年度山川賞受賞者

山川健次郎初代総長の名を冠した賞

山川賞の目的は、九州大学教育憲章が指向する、人間性、社会性、国際性、専門性に対して優れた志を持ち、学業成績が優秀な学部学生を選考し、次代を担う若者を育てることです。

内容
学業を助成する奨学金として、
年間100万円を学部卒業年度まで給付

歴代受賞者にQuestion! 山川賞はどのように役立ちましたか?

こんなことに役立ちました

- 1位 留学することができた
- 2位 学習・研究に専念することができた
- 3位 資格取得・ボランティア活動等の経験を得られた

奨学金

- 経済的な不安を感じずにいろいろなことに挑戦することができた。海外への留学経験が、現在の海外での研究活動につながるきっかけの一つになった。
[工学部卒/勤務先:九州大学]
- 経済的に裕福な家庭ではなかったが、奨学金のお陰で自由に教育・研究活動を行うことができました。
[工学部卒/勤務先:東北大学]
- 海外留学をはじめ、コロナ禍においても多くの挑戦ができ、大変有意義な経験が出来た。
[農学部卒/勤務先:株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメント]
- 海外留学、海外で開催されるイベントや研修への参加、課外活動団体の立ち上げ等、山川賞のお陰で様々な経験ができた。
[経済学部卒/勤務先:PwC Japan有限責任監査法人]
- 金銭的に諦めざるを得なかったことに沢山挑戦ができ、2度の短期留学やサークル活動、他受賞者との交流を通じて、本当に活動や学びの幅が広がった。
[工学部卒/勤務先:JAXA(宇宙航空研究開発機構)]

選考プロセスを乗り越えた経験

- 選考プロセスは自身の活動、特に将来の計画について体系的に言語化して宣言する機会となり、自身の目指す「方向性」を明確にできた。社会に出てからも重要な進路決定をする際の指標となっている。
[農学部卒/勤務先:株式会社東洋新薬]
- 山川賞応募にあたり、今までの経験や自分の夢を今一度整理できた。この経験は、確固とした自分の軸を持つに至れた1つの要因になった。
[工学部卒/勤務先:本田技研工業株式会社]

受賞した事実

- 「山川賞受賞の名に恥じない生き方をせねば」と、卒業後もとても良いモチベーションをもらっている。
[法学部卒/勤務先:ポスト・コンサルティンググループ]
- 学長名を冠した成績優秀者に与えられる賞を受賞したと言うと、周りから優秀だと思ってもらえて動きやすい。また、いつか必ず大学や社会に還元しなくてはという思いが湧き、モチベーションアップに繋がりが高い志を持つことができていると感じる。
[法学部卒、勤務先:株式会社dotD]

【アンケート実施時期】2023年12月 ※進学/勤務先はアンケート回答時のもの

九大生
応援
基金

PROJECT 02

学生の国際性を育てる
海外派遣

【海外留学渡航支援実績】87名

【国際会議等参加支援実績】54名

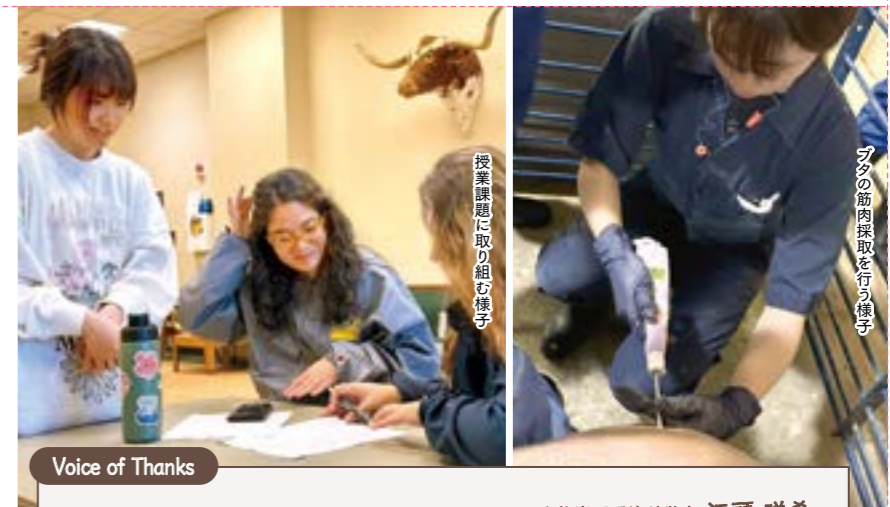
自国の文化や歴史を知り、自分の考え方を国際社会で主張できる論理的思考力、積極的姿勢や発信出来る語学力を兼ね備える学生の国際性を育てるための支援助成事業を行っています。九州大学基金では下記の2つの支援を行っています。

海外留学渡航支援

学生が、海外の大学等で学ぶことにより、語学力・コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力・行動力を磨き、異文化に対する理解と国際感覚の醸成を図り、グローバルに活躍できる人材として社会に貢献できるようにすることを目的とし、渡航費を支援します。

国際会議等参加支援

学生が、国際会議等において研究発表するための機会を増やすことにより国際感覚の醸成を図ることを目的とし、国際会議等に論文を提出し、研究成果を発表するための渡航費等を支援します。



Voice of Thanks

アメリカ「ジョージア大学」に留学

生物資源環境科学府 江頭 咲希
留学期間：令和5年8月6日～令和5年12月31日

留学中は「持続可能なグローバルフードシステム」と「修士研究」の2科目を履修しました。前者では授業中のディスカッションに加え、事前リーディング課題と事後レポート課題をこなすことでインプットとアウトプットの双方を鍛えられました。授業内容は食料生産の仕組み、バリューチェーン、食品ロス、国際機関等の話題を含み、食料生産に係る課題を包括的に理解することができました。修士研究として筋肉生物学分野のラボで活動しました。滞在中に進行していたメインプロジェクトは、ブタの飼料成分と筋肉疲労に関するものでした。現地の大学院生とともに分子生物学実験を進める傍ら、実際にブタを飼育したことは印象に残る経験になりました。毎週、大学が保有する養豚施設にて、採血と筋肉採取、飼料摂取に関するデータ収集に携わることができました。学期末には研究成果発表を行い、研究背景、実験方法、実験結果をまとめました。また、ラボの共同研究先である企業からの委託業務として、数をこなすような実験を行う機会がありました。事前準備や効率のいい進め方、同僚とのコミュニケーションや対応力といった点でも勉強になることがありました。総じて畜産分野の研究経験を積むことができ、筋肉発生に関する知見を深めることができよかったです。実りある留学を実現できたことに感謝しています。この経験を糧に今後も社会に貢献できる人へ成長できるよう、より一層精進して参ります。
Thank you very much!

九大生
応援
基金

PROJECT 03

学生の創造と挑戦を支える 学生の活動支援

【支援実績】11団体



九州地区予選大会で令和5年2位、令和6年優勝

Voice of Thanks

チアリーディング部「ETOILES」 チアリーディング部ETOILESは、「元氣・勇気・笑顔」を届けることをモットーに、本学の諸部活動の応援、地域のお祭りや本学入学式などのイベント参加、チアリーディング競技会への出場を主な活動としています。競技会では、スタンツと呼ばれる組体操のような動きを中心に、アクロバット、ダンス、アームモーションなどを組み合わせて、その総合的な難易度・完成度を競います。今年度はご支援によりミニトランポリンを購入することができ、宙返り等のアクロバティックかつ高度な動作の練習環境を整えることができました。宙返りの練習を床上で行う場合、特に練習の初期段階では跳躍力不足や跳躍姿勢の崩れから怪我を負う可能性が高まります。トランポリンを使用することでこれらのリスクを抑えて安全に練習でき、正確な動作の習得が可能となりました。その結果、令和5年6月の九州地区予選大会では過去最高の2位、8月の全国大会では初の準決勝進出という好成績を収められ、令和6年6月の九州地区予選大会では遂に初の優勝を果たすことが出来ました。これからは部員一同で支援への感謝を忘れず、本学部活動としての誇りを持ち、「元氣・勇気・笑顔」をモットーに各種活動に取り組みさせていただきます。
Thank you very much!



練習の様子

PROJECT 04

価値創造型半導体スペシャリスト
育成プロジェクト

【目標金額】4,600万円(第一期)
【募集期間】2023年8月～2026年8月

本事業では、教員総勢24名が文理の枠を超えて結集し、半導体スペシャリストであると同時に、社会のニーズを理解し、半導体・集積回路の設計・製造に反映できる「価値創造型半導体スペシャリスト」を育成します。

将来の社会課題解決や社会変革の実現に向けて半導体が極めて重要となる中、本学の充実した研究施設とトップレベルの研究者層により、世界各国とも多くの連携を行いながら、優秀な半導体人材の輩出を目指します。



学生と支援企業との懇談の様子

PROJECT 05

未来人材育成奨学金

【募集期間】2023年4月～

令和5年度にスタートした「未来人材育成奨学金」プロジェクトは、趣旨に賛同いただいた企業からの寄附金を基に、学業成績が優秀な学生を支援し、彼らが社会の課題解決や新たな未来をデザインする力を伸ばすことを目指しています。

さらに、奨学生と企業との交流の機会を設けて、学生たちが大学生活では知り得ることのできない視点を持ち、将来の展望に有意義な影響を及ぼすことを期待しています。

【令和5年度支援企業(五十音順)】

- 株式会社アトル 様
- アドベンチャーホールディングス 株式会社 様
- 株式会社 柏木興産 様
- 千代田計装株式会社 様
- 株式会社北洋建設 様
- 溝江建設株式会社 様
- 山下医科器械株式会社 様
- リックス株式会社 様

TOPICS [トピックス]

令和5年度
活動報告会を
開催しました

2024年2月、令和5年度未来人材育成奨学金活動報告会を開催しました。今年度ご支援頂いた8社の企業担当者様にご参加いただく中、9名の奨学生から活動報告が行われ、自身の研究に関するもの、研究以外に新たに挑戦したものなど、充実した内容が報告されました。報告会の後は、和やかかつ熱気ある雰囲気の中、奨学生・企業様による懇談が行われ、奨学生にとっても、実際に支援頂いた企業様と直接話をすることにより、支援を身をもって感じる事が出来る機会となったようです。



奨学生による報告の様子

TOPICS [トピックス]

「価値創造型半導体
人材育成センター」
での活動

2023年11月、在福岡米領事館の支援により日米連携でのワークショップを開催し、日米における最先端の設計技術や人材育成に関する講演を通して両国での最新状況を知るとともに、今後進むべき方向性や国際連携に関する可能性を議論する貴重な場となりました。また翌年2月には、次世代半導体デバイス価値創造特別講演会を開催するなどアップデートを絶やさず、スペシャリスト育成のための環境を整えています。



● その他のプロジェクト

PROJECT 06 産業数学人材育成プロジェクト

【目標金額】1,200万円(第一期)
【募集期間】2021年5月～2026年3月

産業界に貢献できる卓越した数学研究人材育成の一環として、今年度も企業や学生、教員参加のスタディグループ・ワークショップを実施しました。複数のグループに分かれた参加者が1週間で企業などの課題に取り組み、活発な議論を展開することで、問題解決の糸口だけでなく、多くの気づきや新たな視点を生み出す機会となっています。また、本基金を活用した国際交流事業で、学生の国際性の涵養に努めています。



スタディグループワークショップ

PROJECT 07 課外活動における安全対策等
支援基金(令和2年度新規開始)

【目標金額】設定なし
【募集期間】2020年12月～

課外活動中に起きた学生事故を風化させることなく、将来にわたって安全な課外活動を実施するため、シンボルとなる「課外活動安全の碑」を建立し、安全意識を醸成するとともに、定期的に開催する安全対策講習会、その他課外活動における安全対策の充実・推進事業を実施しています。



安全対策講習会を実施

PROJECT 08 修学支援事業基金

【目標金額】1,000万円/年
【募集期間】2016年10月～

特に経済的な支援を要し、学業成績が優秀である学部生を支援するための基金です。1人当たり月額3万円、毎年30名程度を選考し、返済不要の「九州大学修学支援奨学金」を給付します。

PROJECT 09 ヨット部艇庫建設・活動支援基金

【目標金額】2,000万円
【募集期間】2016年12月～2027年11月

九州大学ヨット部OB会「帆友会」が中心となり、九州大学ヨット部の艇庫建設及び部の活動費用支援のための寄附を募るものです。ヨットや救助艇を十分に収納でき、ミーティングや合宿活動ができる安全・安心で機能的な艇庫の建設を目指しています。



PROJECT 10 教育研究活動における安全管理・安全教育活動支援基金

【目標金額】設定なし 【募集期間】2020年12月～

授業実施期間中に本学学生が亡くなった事故を受け、事故の記憶を風化させることなく、教育研究活動における安全の確保、安全教育の充実等を図るために10月1日を「九州大学安全の日」として定め、取組みの一環として、毎年、安全管理及び安全教育に関する講演会を毎年開催しており、2023年度は、「教育・研究現場で生きる実効的な環境安全」をテーマに講演会を開催しました。今後も講演会等の取組みを通じて安全確保に関する知識の習得、安全意識の向上を図り、事故等の発生防止に努めて参ります。



PROJECT 11 ウクライナ学生・研究者支援基金

【目標金額】設定なし
【募集期間】2022年5月～2024年9月

ロシアによるウクライナ侵攻により、学びや研究を継続することが困難となっているウクライナの大学・機関等に在籍している学生や研究者を受け入れ、学びや研究を続けるための経済的支援を行うための基金です。多くの皆様のご支援により、4名の留学生と2名の研究者に対して支援を実施することができました。



支援を受けて研究を行う学生

PROJECT 13 留学生支援事業基金

【目標金額】600万円
【募集期間】2023年3月～2027年3月

留学生が経済的事情や不測の事態により学びを断念することがないよう、意欲と能力があり修学継続のために経済的支援を必要とする留学生への奨学金や、不測の事態に陥った留学生に対する必要な支援など、留学生の学生生活を充実させるための取組み等に活用し、高い志を持ち母国を離れて日本で学ぶ優秀な留学生への支援を強化・拡充し、優れた人材の育成を通して将来にわたり国際社会に貢献して参ります。



PROJECT 12 学生の自主的アントレプレナーシップ
活動支援(S.I.P)

【目標金額】設定なし
【募集期間】2023年3月～2028年3月

S.I.Pは、学生自身の社会に対する問題意識に基づいた「こんなこと、やりたい!」を支援するもので、若者らしい感性に基づくユニークな研究・調査プロジェクトを企画し、自らが実践する「チャレンジ&クリエイション」など、アイデアや研究の方向性等により3つのプログラムを提供しています。本事業を通じて、学生の皆さんが、自らの学部・学府で学んだ知識を生かして、実践的な場でアイデアをカタチにすることにより、自身の活動と社会との繋がりがや大切さを知り、自らのキャリアを考えるきっかけにもなっています。



新たな施設の整備から 貴重な建築物の保存まで。

キャンパスをさらに彩る植樹整備や新しい博物館の整備、近代建築物の保存など、より形に残るご支援をいただいています。

PROJECT 01

近代建築物の保存活用プロジェクト

【目標金額】1億円 | 【募集期間】2022年9月～2026年3月

今回のプロジェクトの対象である旧工学部本館をはじめとした、箱崎サテライトに現存する近代建築物群（「旧工学部本館（昭和5年建設）」「本部第一庁舎（大正14年建設）」「本部第三庁舎（大正14年建設）」「正門門衛所（大正3年建設）」）が、「造形の模範となっているもの」として、九州大学の所有する建造物では初めて国の登録有形文化財に登録されています。
新たな学びの拠点として活用していくべく、具体的な建物利用計画の検討を進めております。



旧工学部本館

PROJECT 02

総合研究博物館箱崎サテライト拠点化事業

【目標金額】2,000万円(第一期) | 【募集期間】2022年7月～2026年9月



ミュージアム・ウィークで動物標本を製作する子ども達



ランチのバックヤードツアーでのアンモナイト標本資料解説の様子

本事業では、市民に開かれた新しい博物館を目指し、箱崎・伊都それぞれの場所を活かした活動を展開しています。箱崎サテライトでは、開学記念学内施設公開の一環として、5月の土日4日間に通常非公開エリアも含めて開館し、1,500名近くの方々にご来館いただきました。

また、伊都キャンパスでは、収蔵拠点としての機能に加え、研究・教育にかかる共同利用施設としての機能や展示機能を有する「伊都標本資料研究・教育ランチ」が完成し、2024年2月には、ご寄附頂いた方への謝意として、博物館教員によるバックヤードツアーを開催しました。集約化された博物館資料について、教員の解説を交えながらご案内し好評をいただいています。

PROJECT 03

伊都キャンパス植樹プロジェクト

【目標金額】1,000万円 | 【募集期間】2016年3月～



九州大学のメインキャンパスである伊都キャンパスは、皆さまのご寄附により少しずつ緑が増えてまいりました。2023年度は、これまでの植樹により育成している15品種174本について、肥料の散布、剪定、水みち整備等の生育管理を行い、キャンパスを美しい緑でいっぱいにするため、日々整備を行っています。

PROJECT 04

九州大学デジタル資料整備事業

【目標金額】1,000万円 | 【募集期間】2021年4月～2026年3月



講演会の様子

2023年11月に第60回附属図書館貴重文物展示・講演会（第48回貴重文物講習会）「資料からみる糸島の歴史」を開催し、本学伊都キャンパスが立地する糸島の歴史をテーマに、三苦家文書、三奈木黒田家文書、麻生家文書など主に記録資料館が持つ歴史資料を公開しました。あわせて、展示の監修者である記録資料館の梶嶋政司助教および原口大輔講師による講演会も実施し、来場者から「郷土の人間としてうれしいです」、「地域の人はもちろん糸島以外の人にも、講演会等を通して史料を有効に活用できることを実感しました」といった感想をいただきました。



展示会・講演会ポスター

PROJECT 05

九州大学附属図書館医学図書館整備事業

【目標金額】1,000万円(第一期) | 【募集期間】2023年10月～2028年3月



展示会の様子



展示会ポスター

本事業は、2022年10月リニューアルオープンした医学図書館が、最先端医療の創出と質の高い優れた医療人材の育成に向けて、病院キャンパスの学習・教育・研究環境の整備を担い、皆様と共に未来の医療を創造する「共創」の場としての機能を発揮することを目指しています。2023年度は、「知をつむぐ 東西の古医書」展を開催しました。医学図書館が所蔵する代表的な貴重書20点を展示し、西洋医学の精巧な図譜、東洋医学のユニークな描写を紹介しました。本展示は、現在も図書館HPにて電子展示を公開しています。

医療で未来を支える 病院として。

PROJECT 01

九州大学病院基金

【令和5年度寄附額合計】43,521,000円

患者さんに満足され、医療人も満足し、
医療の発展に貢献する病院を目指します。

九州大学病院は、国内トップクラスの移植手術や、すい臓がんへの新たなアプローチとしてのロボット手術、血液がんへの最新治療法であるCAR-T療法などの高度医療を提供しています。また、九州大学病院と分院である別府病院との間で模擬臓器を用いた遠隔手術の実証実験を行うなど質の高い臨床研究の推進や、医療用シミュレーターを用いた実践教育や医療人材育成にフォーカスした国際活動など、高度医療の中核拠点として、また地域の医療機関と連携し、地域医療の最後の砦となる特定機能病院として日々邁進しています。



遠隔手術の実証実験



医療用シミュレーターを用いた実践教育



九州大学病院基金は令和5年8月に設置され、これまでに総額43,521,000円のご寄附を頂きました。(令和6年3月現在)皆様からのご支援は患者サービスの向上、高度医療の提供、医療スタッフの育成、質の高い臨床研究の推進に活用させていただきます。

NEW!

部活動・サークル活動 支援基金

【基金の設置について】

令和6年度より、「部活動・サークル活動支援基金」を新たに設置いたします。九州大学の全学・学部公認団体のうち、申請があった団体について寄附プロジェクトを立ち上げるもので、練習器具などの高騰で課外活動も大変な中、日々目標に向かって頑張る学生たちを支援するため創設するものです。卒業生の方はもちろん、多くの皆様からのご支援を心よりお待ちしております。



80もの部活で
日々、学生たちが
活動しています

寄附者の方々の意向に合った 支援が可能になりました。

「卒業した部局の後輩の力になりたい」など、
寄附者の方々の意向に合わせた支援が可能です。

PROJECT 01

部局特定寄附金

【令和5年度寄附額合計】95,281,000円

[基金の設置について]

令和5年度に「部局特定寄附金」を新設したことにより、各学部・学府・研究院・病院・研究所・センター等の活動に対するご支援を九州大学基金から行うことが可能となりました。

2024年7月時点では以下の19部局が寄附プロジェクトを設置しており、研究・教育・国際連携など、各部局の理念に基づき、皆さまからのご支援を活用させていただきます。

■学部・学府・研究院

法学研究院基金

理学支援基金

次世代の医療を拓く医学奨励基金

歯学教育研究支援基金

薬学教育研究支援基金

工学教育研究支援基金

芸術工学支援基金

農の未来共創基金

言語文化教育研究支援基金

数学教育研究支援基金

ISEE(システム情報科学)基金

法科大学院基金

■病院

九州大学病院基金

■研究所・センター等

地球環境・エネルギー問題研究支援基金
(応用力学研究所)

物質・材料・化学先端研究支援基金
(先導物質化学研究所)

カーボンニュートラル・エネルギー研究支援

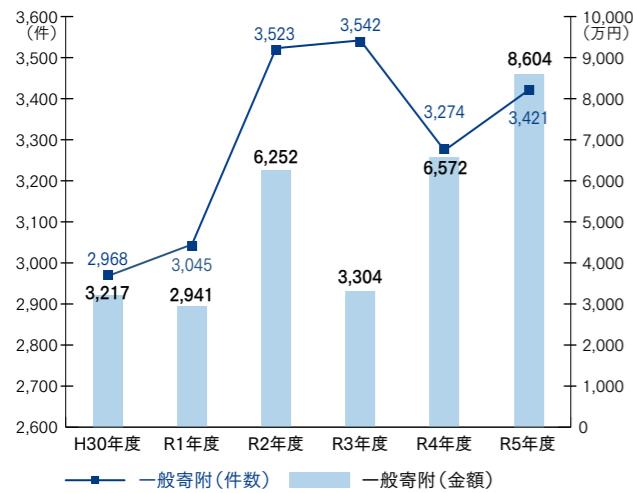
アジア・オセアニア研究教育支援基金

次世代アントレプレナー育成(QREC)

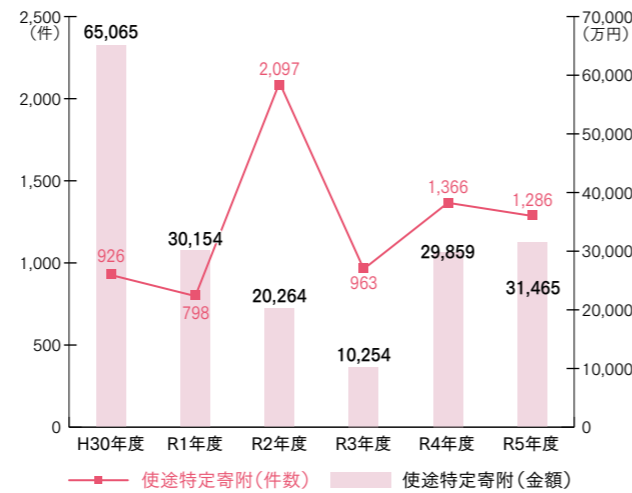
水素エネルギー研究教育基金

これまでの寄附実績

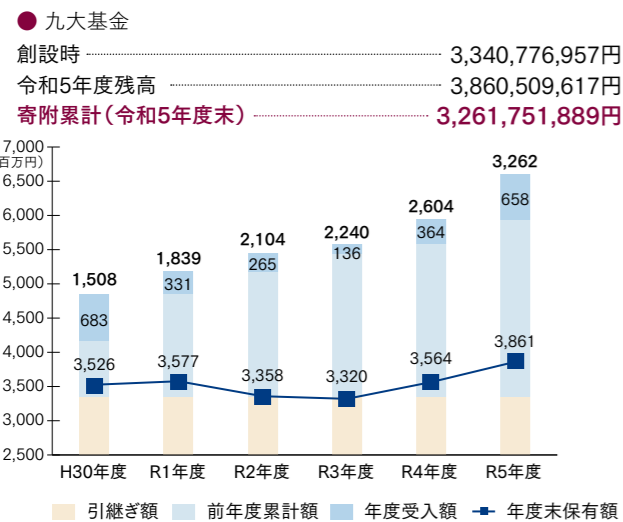
■ 一般寄附の件数・金額の推移



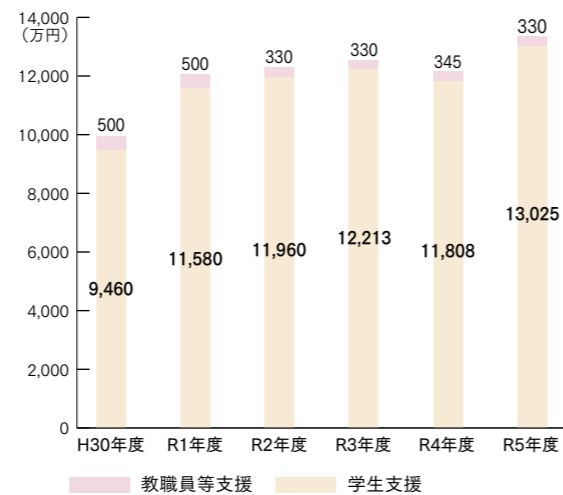
■ 使途特定寄附の件数・金額の推移



■ 九大基金寄附額累計及び年度末保有額



■ 支援助成事業支援額

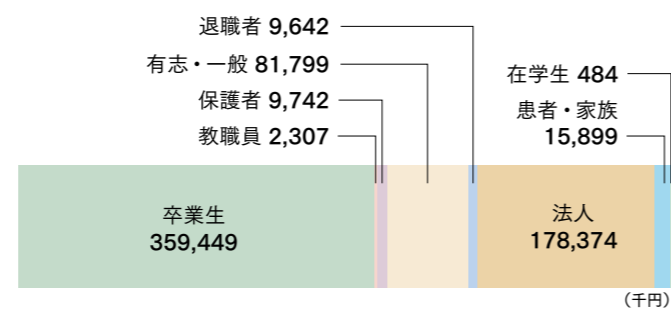


■ 寄附者属性別寄附件数

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
卒業生	1,730	2,548	2,156	2,191	2,492
教職員	666	807	566	572	391
保護者	529	533	594	564	659
有志・一般	624	1,347	708	755	598
退職者	152	206	313	298	239
法人	53	93	95	196	226
患者・家族	-	-	-	-	25
在学生	89	86	73	64	78
合計	3,843	5,620	4,505	4,640	4,708

【令和5年度 寄附者属性別寄附額】

令和5年度総額：657,696千円



※単位未満切捨のため、表上の計算が合わない箇所があります。

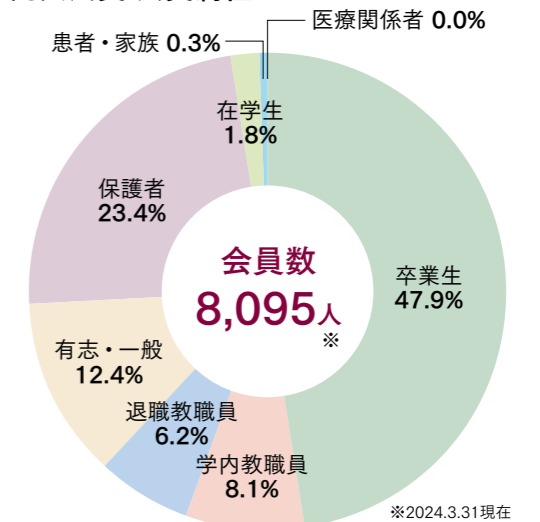
九大会員のご案内

九州大学基金では、クレジットカード決済により年額2千円以上を継続的にご寄附くださる方、又は単回1万円以上をご寄附くださる方への会員制度を実施しており、令和5年度末現在、約8,000人の会員の皆様がいっぱいます。今後も、皆様とよりよいネットワークを築き、社会とともに発展する大学をめざして参ります。

九大会員とは？

- 1回1万円以上もしくは継続年2,000円以上の九大基金へのご寄附者はどなたでも会員になれます。
- 会員資格は無期限。(寄附額に応じて会員証を発行します。会員証有効期限は5年間です)
- カード提示により提携先約90社から100種類以上の特典が受けられます。

■ 九大会員 会員属性



九大会員の階層と名称は3種類！

九大会員

会員証カラー：九大ワインレッド



累計寄附額：1万円以上

貢献会員

会員証カラー：シルバー



累計寄附額：10万円以上

名誉会員

会員証カラー：ゴールド



累計寄附額：50万円以上

九大会員特典の詳細はホームページをご覧ください。

九州大学基金

検索

トップ画面 ▶

「寄附の方法」 ▶

「九大会員・特典」

◎ 九州大学全体の寄附 ◎

九州大学では、毎年約30億円を企業や個人の方に、学術研究や教育の充実のためにご寄附いただいています。

[寄附金受入額の推移]

